

鬼ごっこでご飯を食べていくのはどうしたら良いのか

(東村山市スポーツ鬼ごっこ愛好会 代表)三輪 耕太

キーワード： ご飯を食べていくには

皆さまおはようございます。東村山市スポーツ鬼ごっこ愛好会代表の三輪耕太です。まずは簡単に自己紹介します。東京都在住24歳で普段はドコモショップでお仕事しながら休みの日に鬼ごっこの活動を1人でやっております。先程東村山市スポーツ鬼ごっこ愛好会代表と名乗らせてもらったのですが実は自分しかメンバーがいません。個人の名前で鬼ごっこやるよりも団体があった方がいいなと気がつき去年の6月に愛好会を立ち上げました。

そんな自分が今日話したいテーマが、将来鬼ごっこでご飯を食べていくにはどうしたら良いのか。まずは、何故このようなことを考えたのかと言いますと、私は今24年間生きてきて自分の人生の中でおにごっこをやっている時が楽しいというのに気がついたからです。これはもちろんプレーヤーとしてやるのもそうですが鬼ごっこを提供している時もこんな気持ちを感じている自分がいます。そんな中で鬼ごっこを仕事として捉えてお金をもらうことができれば幸せだなって思うのでやりたいと考えるようになりました。

でも、現段階で鬼ごっこを主な手段としてお金を稼いでいる人は私の中では鬼ごっこ協会、花輪さん、飯田さんだけです。この中に自分の名前が入ったらどれだけ凄いことか。私はこの中に名前がはいるように次のことをしています。東久留米市大門中学校での卓球部外部指導員・台東区立谷中小

学校放課後教室鬼ごっこ指導。

私は仕事の関係上平日休みなのですが休みの平日は大体中学に行き月に2回小学校に行くというルーティンになっていて、中学は年間契約、小学校は単発契約でちゃんとお金ももらってます。そして、これだけをやっている鬼ごっこ独立は絶対に出来ないで今考えている次のステップが幼稚園保育園での実績作りです。これをやることによって単発で貰える金額を上げて信用作って行きます。この次のステップで市ないし東京都との連携を考えています。市と連携までできれば鬼ごっこで独立という視野が形になるかなと思います。市との連携に関しては主に小学校での放課後教室での指導でそれ以外にもその関わる市での地域交流とかで子供達が外で遊ぶと言う習慣のお手伝いをして行きたいと考えています。これが私が考えている鬼ごっこでご飯を食べていく道筋です。

私はこれらのやっていく上で大切にしたい想いという事があり「鬼ごっこ×キャリア教育」、スポーツ鬼ごっこをやったことで色々な鬼ごっこを行ったことによって少しでも将来の自分に焦点が当たる活動をしていく予定です。そんなのできるわけがないとかさまざまなお意見があると思います。否定で考えるのではなくて今まで7年間鬼ごっこやってきてここまで形にしてきたのでなんとでも成し遂げたいです。賛同してくださる方本気で鬼ごっこのプロ一緒に作りませんか？